

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 電源開発株式会社 高砂火力発電所

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

高砂火力発電所は、発電設備の保安を確保し、電力の安定供給に努め、地域及び環境との調和を目指した事業活動を継続しています。今後も関係法令及び地域との協定事項を遵守して、地域社会・関係各所とのコミュニケーションを図り、企業の社会的責任を果たしていきます。

そのため、安全衛生・環境・品質・自主保安の管理活動に関する所長方針を定め、全従業員に周知し、実践します。所長方針は以下の通りです。なお、より良い事業活動の実現のため、事業活動実施結果を適切に評価し、運営管理システムの継続的な改善に努めます。

(環境方針)

事業活動に伴う環境への影響を従業員 1 人ひとりが認識し、汚染を予防し、環境影響を低減するため、設備の効率的な運転の維持及び省資源、省エネルギー対策に取り組むとともに、廃棄物の適正管理、資源のリサイクル化に努めます。

【目標・計画等】

環境保全活動	目 標	目標達成のための計画、方策
事務所の使用 電力量 省エ ネの推進	事務所の節電に努める。	昼休みの O A 機器の停止、照明の消灯等による節電
社有車の燃料 使用量 省エ ネの推進	社有車運行の効率化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・残業量を削減することによる通勤バス運行台数の削減 ・アイドリングストップ等活動の推進
3 R (廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用) の推進と廃棄物適正処理の徹底	発電所から発生する産業廃棄物を適正に処理するとともに有効利用の促進に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法規制や会社で定めたガイドライン等に従い適正な処理、管理を行う。一般廃棄物に関して、分別収集を徹底する。 ・月 1 回の廃棄物パトロールの実施 ・電子マニフェスト化の推進
	発電所で使用するコピー用紙は、リサイクル品購入率 100% とし、裏紙	両面印刷、P P T 資料の複数ページの 1 ページ印刷などの手法の提示などにより、可能な限り使用枚数を削減す

	の利用などにより過去4ヵ年平均購入実績量以下となるように努める。	る様に教宣していく。
環境マネジメントシステム	システムの継続的な改善を行ない、環境負荷の低減に努める。	適切な目標の設定、関係法令の特定と遵守評価、進捗度の評価を行うとともに、内部監査やマネジメントレビューを実施し、システムの継続的な改善を行う。
環境教育	環境保全に関する従業員教育の徹底	環境管理に関する教育、研修、訓練
地域の環境保全活動への参加	環境諸行事への積極的な参加、地域社会の一員として積極的なコミュニケーションに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流、見学者の受入れ ・行政主催行事への参加 ・発電所関係周辺の清掃活動
環境コミュニケーションの実施	環境保全活動に関するホームページ等を通じた広報活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全への取組み状況をホームページ（播州コム）に掲載する。 ・来客者に対するパンフレット等による広報活動 ・高砂市環境学習プログラム「エコ教室サポートガイド」事業への参画

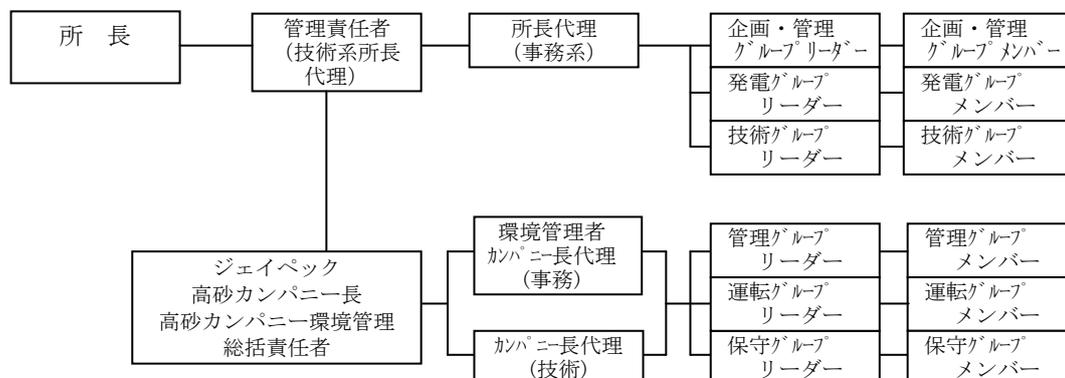
1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

電源開発株式会社 高砂火力発電所

所長	最高責任者
技術系所長代理	管理責任者（運営管理システム） 環境業務に関する統括管理、所長を補佐
事務系所長代理	事務的業務全般の執行統括 所長を補佐
企画・管理グループ	環境関係総括業務、危機管理に関する業務他
発電グループ	○運転部門 発電設備運転、運用管理（環境管理に関する業務を含む）、燃料・灰処理、港湾管理業務
技術グループ	○保守部門 発電所保守、技術総括管理、環境対策設備の維持、管理

㈱ジェイペック高砂カンパニー： 発電所と一体となって環境管理業務の推進を図る

カンパニー長	環境管理総括責任者（ジェイペック高砂カンパニー業務所掌範囲）
カンパニー長代理（事務）	環境管理者（同上） 事務的業務全般の執行統括、カンパニー長を補佐
カンパニー長代理（技術）	技術的業務全般の執行統括、カンパニー長を補佐
管理グループ	調達業務、廃棄物収集管理他
運転グループ	○運転部門 排脱及び排水処理設備運転業務、揚運炭業務
保守グループ	○保守部門 発電所保守業務



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
事務所の使用電力量 省エネの推進	空調温度設定（夏期28℃、冬期20℃）の徹底、昼休みの照明消灯等の取組みを継続した結果、事務所の使用電力量は前年度と同程度であった。	空調温度設定、昼休みの照明消灯の継続等省エネに努める。
社有車の燃料使用量 省エネの推進	ノー残業デー時の社有バス減台運行の実施及び所員へメール等によるアイドリングストップの呼びかけ等を行い、省エネの推進に努めた。	社有バス減台運行の継続、アイドリングストップ等を推進する。
廃棄物対策	関係法規制を遵守するなど廃棄物の適正処理、管理に努め、廃棄物パトロール実施を徹底した。オフィス紙ゴミについては、コピー用紙の両面使用による発生量削減に努めたが、対外対応業務の増加等により、過去4年間の平均値に比べ約2%使用量が増加した。ダンボール、古新聞・雑誌については、子ども会への提供等によりリサイクルに努めた。	引続き廃棄物の適正処理、管理を徹底する。
グリーン調達の推進	JPOWERグリーン調達ガイドラインに基づき、取り組みを行なった結果、100%近い調達率であった。	引続きグリーン調達率の維持に努める。
環境マネジメントシステム	外部審査を受審し、ISO 14001認証登録の更新が承認された。	認証の継続は行わず、既存のシステムの継続的な改善を行ない、環境負荷の低減に努める。
環境教育	平成25年度計画に従い、環境教育、訓練を適宜実施した。6月の環境月間には、各種所属団体より提供を受けたポスター等の資材を活用し、従業員の教育に努めた。	引続き環境保全に関する従業員教育を徹底する。
地域の環境保全活動への参加	発電所見学者受入れ、地域住民への発電所開放デーの実施、環境月間行事（発電所周辺、海浜清掃活動、花いっぱい運動）の実施、環境フォーラム・研修会等へ出席した。	引続き地域の環境保全活動への参加に努める。
環境コミュニケーションの実施	発電所ホームページ等による環境活動に関する広報活動を実施した。	引続き環境活動に関する広報活動を行う。

